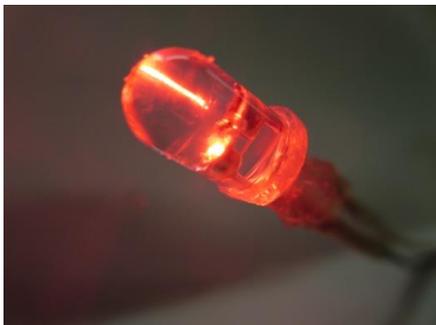


C 色が次々と変化するよ！ 素敵に輝く^{がんえん}岩塩 LED ランプ

LED ライトを使って、岩塩ランプを作ります。
まず LED ライトを見てみましょう…



幅広く使われているLEDライト。
ご家庭でもいくつかあるのではないのでしょうか。LEDライトは現在では様々な色を出すことが可能で、点滅するもの、色が変化していくものもあります。



各テーブルには数種類の LED ライトを用意しています。実際にそれぞれの LED ライトを点灯させてみましょう。今回の工作教室では、このうちの色が変化するイルミネーション LED ライトを使います。

※ みなさんが使用する4つの LED ライトも、それぞれ点灯するか実験してみましょう。

それでは、さっそく LED ライトを使ったランプ作りスタート！



まず、ランプの台になる部分と並べる岩塩を選びましょう。
台の裏側には名前を書いておいてくださいね。



岩塩には LED ライトを中に入れるための穴があけてあります。＜矢印の先＞LED ライトを穴に入れて接着剤を使って固定します。

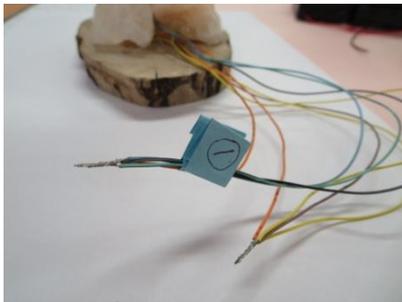
LED ライトを入れた岩塩を台の上に並べます。どんな並べ方がいいかな？
使うことができる岩塩の数は4個まで！ さあどうする？



同じ4個の岩塩と台を使ってもこんなに違います！



※ 並べるときの注意 あとで電池ボックスをつなぐジャックを置くので、そのスペースを確保しておきましょう。



並べ方が決まったら、LED とつながっている赤黒のリード線を同じ色どうしでまとめます。

赤がプラス「+」
黒がマイナス「-」

まとめたリード線と電池ボックスを、赤は赤、黒は黒と接続して、LED ライトが点灯するかテストしてみましょう。



点灯テストがうまくいったら、岩塩と台を接着剤で固定していきます。並べ方（重ね方）によっては、押さえながら接着剤で固定していきます。



ここまでが1日目となります。

※ このあと、接着剤が乾いたら、岩塩を湿気から守るために、透明な塗料で処理をしますが、この作業はこちらで行います。

2日目は…

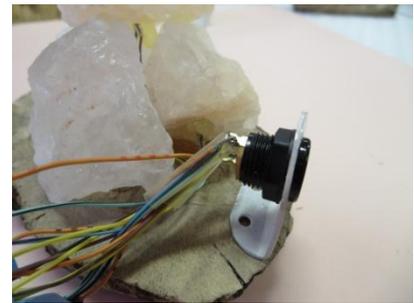
接着剤で岩塩と台がしっかり固定されたかどうかを確認して、電池ボックスと接続していきます。



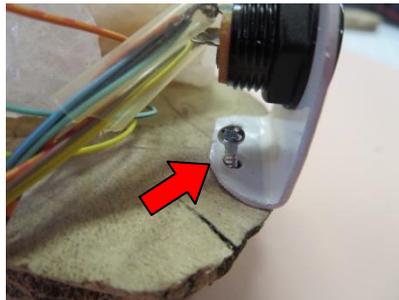
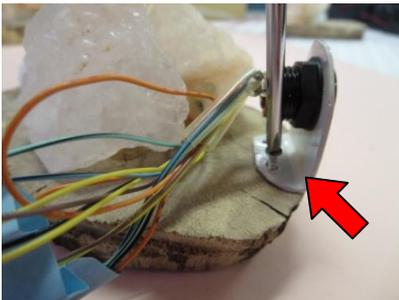
1日目にまとめておいたリード線と電池ボックスを接続するためにジャックを使います。ジャックはすでに金具に取り付けられています。



まとめてあるリード線にそれぞれ透明のチューブをかぶせ、リード線とジャックをはんだづけにより固定します。はんだづけ作業は基本的には地域の方々がやっていますが、ご希望でしたら参加される方にやっていただくことも可能です。



リード線と金具が固定できたら、あらかじめ決めておいたジャックを配置する場所にねじで固定していきます。



※ リード線は邪魔にならないように、結束バンドでまとめます。またリード線をジャックに固定する前に適当な長さに切る場合もあります。

ジャックの固定作業も難しい場合はこちらで行います。そして完成！



このあとは…台にビーズを散らしたり、お好みで飾ったり、みなさんで楽しんでくださいね。

